

連 載

新興国ウォッチ！ <第 14 回>

中所得国の罣(2)

多田 忠義

中所得国の罣の分布

Felipe (2012) は、124 の国・地域（地図のうち縦線部を除く）について、同氏の定義（前回の連載で掲載）に基づき、52 の国・地域を中所得国と分類し、さらに中所得国の罣に陥った国・地域を認定した（図表 1、2）。

図表 1 中所得国の分類（ADB）

	国・地域	うち、罣に該当	うち、罣でない
下位中所得国	38	30	8
上位中所得国	14	5	9

（資料）Felipe (2012)

中所得国の罣に該当の国・地域

中所得国の罣に該当の国・地域は、ラテン・アメリカ、中東に多く分布する特徴を持つ。2010 年時点でベネズエラは 60 年間、サウジアラビアは 32 年間上位中所得国の罣に陥っており、最近 10 年の成長率を維持しても、当分この罣から抜け出せない。なお、世界銀行（2010 年）の区分によると、サウジアラビアは高所得国に分類される。

中所得国の罣に陥っていない国・地域

中所得国で、かつ罣に陥っていない国・地域は、ヨーロッパ、アジアに多く分布する特徴をもつ。ヨーロッパの中所得国は 50 年以上低位中所得国に属した一方、多くのアジア中所得国は、近年低位中所得国へ移行したばかりで、罣に陥るのは、最近 10 年の成長率を維持した場合で約 20 年先と試算できる。

新興国と中所得国の罣との分布関係

新興国に代表される BRICS のうち、ブラジル、南アフリカは「罣」に陥っている一方、中国、インドは「罣」に陥っていない。また「罣」に陥った国・地域は、分布に一定の偏りがあることも明らかである（図表 2）。新興国経済を分析する上で、国・地域の単位だけでなく、世界の地域スケールやその特徴も考慮する必要があることを示唆する。

参考文献

Felipe, J. (2012) "Tracking the Middle-Income Trap: What is It, Who is in It, and Why? Part 1" ADB Economics Working Paper Series. 306, Asian Development Bank.

図表 2 中所得国及び中所得国の罣に陥った国・地域の分布図（バールマン正積円筒図法）

